

第2次米子市まちづくりビジョン 数値目標一覧

資料3

※実績値が現状値より上昇したもの→
※実績値が現状値より下降したもの→
※目標値を達成した項目についての上方改定等の方針→ 赤字部分

基本目標		指標	単位	現状値(R5)	実績値					目標値(R11)	実績値の評価	備考	担当課
					R7	R8	R9	R10	R11				
1	交通の充実と歩いて楽しいまちづくり	① 米子空港発着の国内線の年間利用者数	人	535,299	631,284					620,000	・R7年度の米子空港利用者数は、国際線枠の暫定活用による増便(6便化)の影響もあり、R6年度に引き続き2年連続で過去最高を更新した。	※目標値を達成したものの、現在の利用者数増は国際線枠の暫定活用による増便(6便化)の影響が大きい。国交省はR9年度に利用枠の見直しをする予定とされており、この結果を見て目標値の変更を検討することとしたい。	交通政策課
		② 路線バスの収支率	%	36.0	37.7					44.0	・運賃無料DAY実施やICOCA導入などの利用促進策に取り組んだ結果、路線バスの運賃収入は増加し、燃料費や人件費の高騰など経費が大幅に増加する中において収支率が向上した。		交通政策課
		③ 市の運営するコミュニティバスの年間利用者数	人	115,809	119,098					140,000	・既存のコミュニティバス(だんだんバス、どんぐりコロコロ)はほぼ横這いの傾向であったが、新規2路線の運行開始により、全体の利用者数は増加した。	※現在、郊外エリアにおいてコミュニティバスの導入を順次進めており、今年度予定している「米子市地域公共交通計画」の一部見直しのなかで、目標を見直したい。	交通政策課
		④ 米子駅周辺エリア1日あたりの滞在人数	人	1,961	2,588					2,400 (R8改定) 2,800	・目標値は達成した。引き続き実績値の増加に努める。	がいなロードを起点とした、半径200mの1日あたりの滞在人数 ※現時点で目標値は達成しているが、R8年度以降にだんだん広場へのSL移設、駅北広場の滞留拠点整備を予定していることから、滞在人数の増加が見込まれるため、R11年度の目標値を2,800人に上方修正したい。	都市創造課
2	市民が主役・共生のまちづくり	① 証明書のコンビニ交付発行の割合	%	36.0	48.6					65.0	・発行数が着実に増加し、発行割合は順調に推移している。		市民一課
		② 市域から排出されるCO2排出量削減	%	未確定	(R5) 24.88					45.60	・目標に向け順調に削減中である。	データ根拠となる「自治体排出量カルテ」の更新時期により、2年前の実績値が最新値となる。	環境政策課
3	教育・子育てのまちづくり	① 児童生徒が積極的に地域の行事等に参加する割合の向上	%	小学生64.9% 中学生39.7%	小学生65.9% 中学生56.2%					小学生80.0% 中学生80.0%	・小中学校とも実績値が増加した。目標値に向けて順調な進捗状況である。	小学6年生、中学3年生を対象として抽出	学校教育課
		② 地域や社会をより良くしようとする児童生徒の割合向上	%	小学生66.5% 中学生80.0%	小学生79.4% 中学生69.3%					小学生80.0% 中学生90.0%	・小学生については、目標値に向けて順調な進捗状況である。 ・中学生については、実績値が減少した。目標値に向けて、引き続き、ふるさとに愛着や誇りをもてるような取組の充実を図る。	小学6年生、中学3年生を対象として抽出	学校教育課
4	地産外商のまちづくり	① ふるさと納税返礼品の新規造成件数《累計》	件	－	14					75	・目標値に向けて順調な進捗状況である。	返礼品新規取扱事業者数	商工課
		② 新規創業件数《累計》	件	120	190					300	・目標値に向けて順調な進捗状況である。	米子商工会議所及び米子日吉津商工会における創業支援対象者のうち、創業者数	商工課
		③ 皆生温泉年間宿泊客数	人	408,391	415,098					420,000	・ビジョン策定時から2年間で7千人程度の増加となるなど、令和7年度は国際航空定期便の増便等の影響もあり、非常に高い伸び率を記録した。 ・引き続き誘客につながるプロモーションを実施するとともに、閑散期対策やインバウンド対策などの取組を進め、宿泊客の増加につなげたい。		観光課
		④ 市内の年間外国人宿泊客数(米子市観光課調べ)	人	15,955	36,024					105,000	・国際航空路線の増便、就航といった航空路線の状況が好影響を与え、外国人宿泊者数の増加を記録した、 ・引き続き、国際航空路線が就航している韓国、香港、台湾に向けた効果的なプロモーションの実施、飲食店などのインバウンド受入環境整備に取り組み、誘客を図りたい。		観光課

基本目標		指標	単位	現状値(R5)	実績値					目標値(R11)	実績値の評価	備考	担当課
					R7	R8	R9	R10	R11				
		⑤ 新規就農者の確保《累計》	人	－	2					20	・農業に関する情報を提供するイベント等を通して、引き続き新規就農者の増加を目指す。		農林課
5	歴史と文化に根差したまちづくり	① 米子城跡周辺の1日あたりの滞在人数	人	766	1,075					900 (R8改定) 1,200	・米子城跡で実施する各イベントの定着やマスコミ等に取り上げられる回数が増えたことで滞在人数が増加したと考えられる。	米子城跡を起点とした、半径200mの1日あたりの滞在人数 ※R8年度には米子城跡三の丸広場が完成し、更なる増加が見込まれるため、R11年度の目標値を1,200人に上方修正したい。	文化振興課
		② 米子市公会堂周辺エリアの1日あたりの滞在人数	人	1,537	2,233					1,800 (R8改定) 2,500	・賑わい創出を図るための公会堂を活用した夜間開催事業の定着による来館者の増加をはじめ、周辺商業活動の活性化、歩行環境整備に加え、公共空間利活用の拡大等の相乗効果により、大幅に増加したと考えられる。	米子市公会堂を起点とした、半径200mの1日あたりの滞在人数 ※R8年度以降も継続して、滞在者数の増加が見込まれるため、R11年度の目標値を2,500人に上方修正したい。	文化振興課
		③ 伯耆古代の丘エリアの1日あたりの平均滞在人数	人	58	75					100	・伯耆古代の丘エリアの中核施設である淀江ゆめ温泉で発生した、レジオネラ菌検出事案に伴い約3カ月間休業したことから、当該年度は利用者数および滞在人数が大きく減少した。 ・一方で、伯耆古代の丘公園、上淀白鳳の丘展示館及びむきばんだ史跡公園については前年度を上回る利用者数となっており、各施設での取組や情報発信が、利用者増加に一定の効果を及ぼしたものと考えられる。	伯耆古代の丘を起点とした、半径200mの1日あたりの滞在人数	淀江振興課
		④ 南部地区・史跡エリアの1日あたりの滞在人数	人	527	663					600 (R8改定) 700	・福市考古資料館のイベント等を通じて福市遺跡の滞在人数が増加傾向にある。	福市遺跡、尾高城跡を起点とした半径200mの1日あたりの滞在人数の合算数 ※R8年度以降も継続して、滞在者数の増加が見込まれるため、R11年度の目標値を700人に上方修正したい。	文化振興課
6	スポーツ健康まちづくり	① 外来医療費における生活習慣病に関する割合	%	23.0	22.5					19.0	・前年度より減少しているが、長期的に取り組んでいく必要がある。		保険年金課
		② 初めて介護認定された方の平均年齢	歳	82.26	82.29					83.00	・フレイル度チェック実施人数や運動体験への参加人数は増加しており、フレイル予防に関する取組の広がりがみられる。 ・こうした状況の中で、初回介護認定開始年齢は全体として緩やかな上昇傾向にある。		フレイル対策推進課 長寿社会課
7	災害に強いまちづくり	① 都市計画道路の整備率	%	88.0	88.0					90.0	・実績となる整備率は、供用開始時点で反映されるため実績値は上がっていないが、事業に着手している路線の進捗は図られている。 ・事業中3路線のうち1路線(両三柳中央線)が令和6.12.11に一部暫定供用開始(L=900m)したが、実績値は変動なし。 ※R8.3.31時点 事業中3路線		道路整備課
		② 汚水処理人口普及率	%	93.0	94.9		－	－	－	95.0	・令和8年度末での目標達成の見込みとなった。	※令和8年度末の目標値95.0%(最終)	経営企画課
		③ 消防団員数	人	500	459					511	・高齢等の理由により退団する団員が増加する一方で、新規団員を複数獲得することができ、かつ、今後の団員増加に向けて、団員主導によりPR活動(SNSの活用等)について検討が進められている。		防災安全課
(全体)	地域幸福度(Well-Being)	① 幸福度(最大10)	点	6.5	6.4					7.0	・数値としては、「幸福度」「生活満足度」ともに大きな変動は見られなかったが、「幸福度」が0.1ポイントの減となった。 ・当地の生活利便性は、引き続き強みとして生かしつつ、それを土台とした精神的な幸福度を感じられるまちづくりに引き続き努める。	「地域幸福度(Well-Being)指標」は、客観指標と主観指標のデータを活用し、各項目を数値化・可視化したもの。(デジタル庁が令和4年度に開発・導入)	総合政策課
		② 生活満足度(最大10)	点	6.5	6.5					7.0			総合政策課